

第1章

いんざい環境特集

「環境」という幅広いテーマの中から、今、特に注目されている分野や、活発な動きのある話題を特集します。

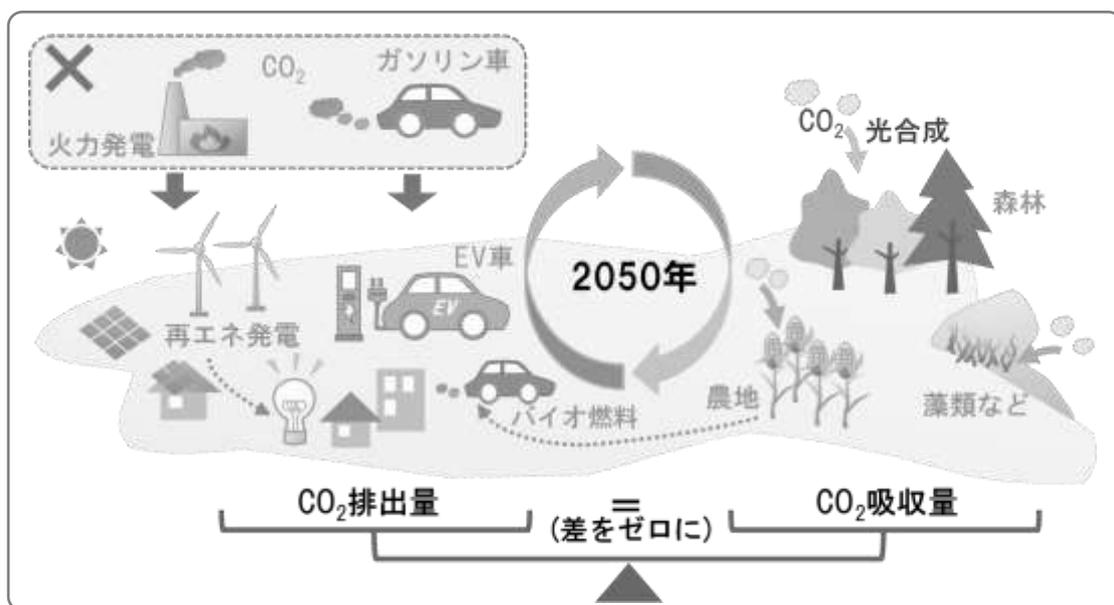
特集 2021 ゼロカーボンシティ

1 ゼロカーボンシティとは

令和2(2020)年10月の臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

昨今、こうした国の目標を踏まえ、脱炭素社会の実現に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体(ゼロカーボンシティ)が増えつつあります。



実質排出量ゼロのイメージ

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、平成27(2015)年に採択されたパリ協定において、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること(2℃目標)」「今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること」などの世界共通の長期目標について合意がなされました。

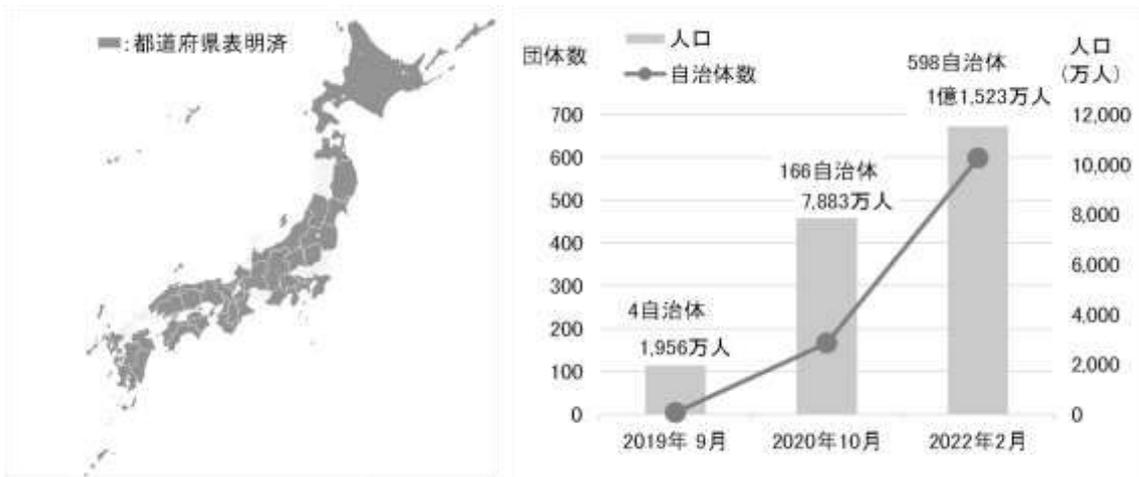
この実現に向けて、世界各国が取り組みを進めており、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げています。

II これまでに表明した自治体

平成 21 (2009) 年の山梨県の表明を先駆けとして、京都市、東京都、横浜市等がゼロカーボンシティを表明し、令和元 (2019) 年 9 月時点における表明自治体総人口*は 1,956 万人となりました。

令和 2 (2020) 年 10 月には 166 自治体 (7,883 万人)、令和 4 (2022) 年 2 月末には、598 自治体 (40 都道府県、365 市、20 特別区、144 町、29 村) が表明しており、表明自治体総人口は約 1 億 1,523 万人までに至っています。

* 表明自治体総人口 (各地方公共団体の人口合計) では、都道府県と市区町村の重複を除外して計算しています。

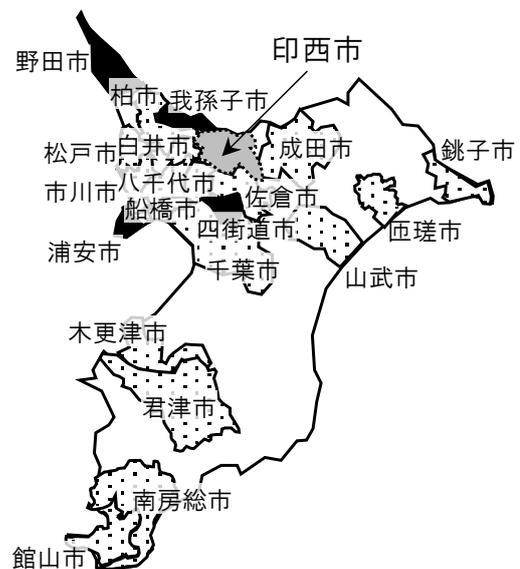


二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体数・人口の推移

なお、複数の市町村等が共同でゼロカーボンシティを表明する場合もあり、「廃棄物と環境を考える協議会」構成自治体のうち趣旨に賛同する共同表明には 45 の自治体が参加しています。

千葉県では、この共同表明に野田市、我孫子市、浦安市、四街道市の 4 市が参加しており、単独では、令和 4 (2022) 年 2 月末時点で、山武市、千葉市、成田市、八千代市、木更津市、銚子市、船橋市、佐倉市、館山市、南房総市、君津市、匝瑳市、白井市、市川市、松戸市、柏市の 16 市が表明しています。

本市でも、ゼロカーボンシティを表明することについて、検討しています。



Ⅲ 個人でできるゼロカーボンに向けた取り組み

国では、令和2（2020）年10月に「国・地方脱炭素実現会議」を設置するとともに、令和3（2021）年6月には、「地域脱炭素ロードマップ」が取りまとめられました。

「地域脱炭素ロードマップ」においては、地域における「暮らし」「社会」分野を中心に、生活者目線での脱炭素社会実現に向けた工程と具体策を示すとともに、衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを「ゼロカーボンアクション」として整理しています。

地域の脱炭素化に向けては、一人ひとりがこれらを意識した日常生活・事業活動を行うことが重要です。また、地域特性や気候風土等に合わせて適宜補足するとともに、技術革新や製品・サービスの進化、暮らしのニーズの多様化等の変化に応じて柔軟にアップデートしていく必要があります。

「ゼロカーボンアクション 30」アクションリスト

| | |
|--------------------|---|
| 1. 電気等のエネルギーの節約や転換 | (1) 再エネ電気への切り替え (2) クールビズ・ウォームビズ (3) 節電 (4) 節水・水道費の節約 (5) 省エネ家電の導入 (6) 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る (7) 消費エネルギーの見える化 |
| 2. 住居関係 | (8) 太陽光パネルの設置・自宅に電源を持ち、余剰分は売電することが可能になる (9) ZEH(ゼッチ) (10) 省エネリフォーム (11) 蓄電池(車載の蓄電池)・蓄エネ給湯機の導入・設置 (12) 暮らしに木を取り入れる (13) 分譲も賃貸も省エネ物件を選択 (14) 働き方の工夫 |
| 3. 移動関係 | (15) スマートムーブ・徒歩、自転車・公共交通機関で移動 (16) ゼロカーボン・ドライブ |
| 4. 食関係 | (17) 食事を食べ残さない (18) 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫・食べ切れる量を買う (19) 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活 (20) 自宅でコンポスト |
| 5. 衣類、ファッション関係 | (21) 今持っている服を長く大切に着る (22) 長く着られる服をじっくり選ぶ (23) 環境に配慮した服を選ぶ |
| 6. ごみを減らす | (24) マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使う・家庭ごみの減量 (25) 修理や補修をする (26) フリマ・シェアリング (27) ごみの分別処理 |
| 7. 買い物・投資 | (28) 脱炭素型の製品・サービス (29) 個人の ESG 投資 |
| 8. 環境活動 | (30) 植林やごみ拾い等の活動 |

参考：環境省脱炭素ポータル「ゼロカーボンアクション 30」アクションリスト